



そばをとるのはイエスさま

ところがたびをしてた あるサマリアじんは、
そばにきてそのひとをみてあわれにおもった。
(ルカ 10・33)



イエスさまはかみさまとひとをあいすることを、さいしよにしたい
せつなことだとはなしています！かみさまにのり、そのこえをき
く、そしてであうすべてのひとにちゅういをはらってほなしをきき、
たくさんのことをせつめいし、ときこはびようきをなおします。



ほかのひとにちゅういをはらうあいは、なにかあた
らしいもので みんながわかりません。たびたびおとな
もわからなくなりしつもんします。あるひとりがきき
ました。「でも、りんじんってだれですか。」



イエスはよきサマリアじんのたとえをはなします。
「りんじんは そばにいるひとです。そのひとにきづか
ずにとおりすぎますか。あるいはきづいてなにかでき
ることがあるか、かんがえてじっこうしますか。」



わたしはクリスティーナです。パパががっこうにむ
かえにきてくれました。とてもうれしかった。なぜ
ってパパがわたしをこうえんにつれていってくれるの
がわかっていたから。とてもおそかったので、いえ
にかえてごはんをたべるじかんがないので、おと
うさんは、とりにくとジュースをもってきてくれた。



わたしはうれしくてすわってたべていた。でも
ちかくでとてもまずいおんなのひとがみんな
にたべものをくださいといっていたけど、だれ
もとまってあげていなかった。



わたしはそのひとがかわいそうになり、わたしの
とりにくとジュースとすこしだけもっていたおか
ねをあげた。たすけるのがうれしかった。イエス
さまもよろこんでいると、しっていたから。あいそ
うするとき、とてもうれしくなる！